

収録データベースが
新しくなりました!!

グローバル化の現象を、
グローバルな視野のもとに解明する3データベースのパッケージ



Gale

グローバルスタディーズ
データベースパッケージ

Gale

グローバルスタディーズデータベースパッケージ

グローバル化・IT化により、国や文化の垣根をこえて人々が自由に交流し、たがいに依存しあう関係にある今日、さまざまな文化、思想、社会的背景をもつ世界の人々とコミュニケーションをとりつつ、国際情勢の種々相について、明確な問題意識をもって学際的・多角的に探究する「グローバルスタディーズ」がますます重要となっています。そのためには、単なる知識の蓄積ではない、日々激動する国際情勢や現代社会を多角的に読み解く力、正答のない社会・倫理問題の相矛盾する論点を理解しながら、説得力のある解決や妥協点を見出していく問題解決力、そして他者の考えを理解し、自身の主張を正確につたえるコミュニケーション能力などが必要となります。また一方でSDGs(持続可能な開発目標)の実現にむけ、環境問題へのリテラシーや社会倫理意識も強く求められています。Galeでは、グローバル時代を生き抜くためのそうした能力の育成に最適な、下記の3つのデータベースをパッケージにてご提供します。

国際問題の論点・文脈を多角的に理解する

Gale in Context : Global Issues

450以上の国際問題、250の国・地域について、世界各国のメディアなどから採られた論説、レファレンス記事、画像、映像、新聞記事、雑誌記事、ラジオ報道、ウェブサイト、一次資料、人物情報などをトピックごとにまとめたポータル形式で提供することで、国際問題とその背景について多角的にとらえ、グローバルな理解と考察をうながします。

- 410以上の国際問題ページおよび250以上の国・地域ページ
- 60か国以上が発行する600種類以上の定期刊物を収録
- レファレンス、統計資料、マルチメディアも多数収録

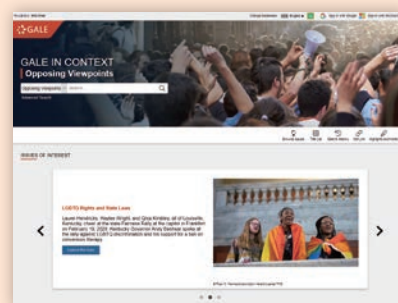


正答のない社会問題を両論併記で吟味する

Gale in Context : Opposing Viewpoints

正答の存在しない 440以上の社会問題について、賛成・反対など様々な立場からの実際の論説、レファレンス記事、画像、映像、新聞記事、雑誌記事、ラジオ報道、ウェブサイト、統計などをトピックごとにまとめたポータル形式で提供し、議論の核心を多角的にとらえ、理解と考察をうながします。

- 賛成・反対の両立場による議論 21,000点以上
- 問題の概要や背景を説明する概説記事 19,000点以上
- 関連する雑誌・新聞記事、一次資料・統計資料、画像、音声、動画など多数

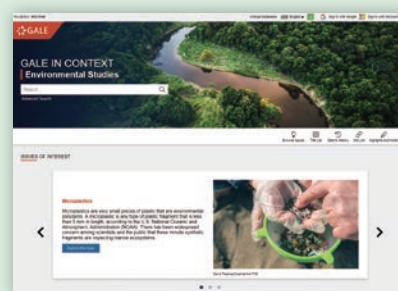


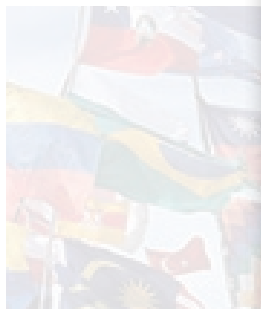
地球環境問題について学際的・多面的に精通する

Gale in Context : Environmental Studies

持続可能な世界発展のために必須となる環境リテラシー。自然・社会・人文科学のあらゆる学問領域を横断する環境問題について、学際的かつ多角的な理解を深めるため、330以上の重要トピックごとにケーススタディ、レファレンス、統計、学術雑誌、報道記事、関連会議などの情報を日々更新して集めます。

- 環境問題・持続可能性に関する学際的トピックページ 330以上
- 環境科学、生命科学、国際法、経済学、農業等の関連雑誌 260点以上から関連する記事
- 関連ケーススタディ、会議報告、統計、団体ウェブサイト、動画、画像など多数





国際問題の論点・文脈を多角的に理解する

Gale in Context: Global Issues

- グローバル市民意識
- 海外の視点による国際問題理解
- 文化多様性の尊重
- 時事英語

正答のない社会問題を両論併記で吟味する

Gale in Context: Opposing Viewpoints

- 英語ディベート力
- 論理的思考力
- 社会的倫理



地球環境問題について学際的・多角的に精通する

Gale in Context: Environmental Studies

- SDGs
- 文理融合
- 環境リテラシー
- 問題解決指向



* 商品名が変更になりました。(旧)Gale Global Issues in Context → (新)Gale in Context: Global Issues
 (旧)Gale Opposing Viewpoints in Context → (新)Gale in Context: Opposing Viewpoints
 (旧)GREENR → (新)Gale in Context: Environmental Studies
 * 2017年度の「Galeグローバル人材育成データベースパッケージ」に含まれていたGale Lingoは、Gale in Context: Environmental Studiesに変更になりました。

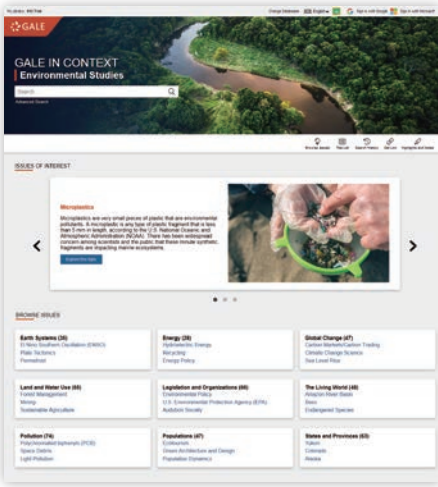
Gale in Context 共通の特色 (裏表紙もあわせてご覧ください。)

トピック・ページ単位のわかりやすい構成

「トピック・ページ」とよばれる主題ごとのポータル形式のページに資料がまとめられ、問題の概説をはじめ、資料の種別ごとにまとめられた関連資料が一覧しやすい形式で表示されています。

マルチメディアを多用したウェブサイト設計

ホームページには最新の話題に沿った複数のトピックが大きなスライドショー画像とともに紹介され、学生の好奇心を刺激します。これらのトピックは定期的に変更され、ユーザーを飽きさせません。



画像を多用し、分野ごとに人気トピックを配したホームページ (Environmental Studies)

学生のワークフローにあわせた様々な機能

検索アシスト機能、ハイライト・注釈機能、自動翻訳機能、音声読み上げ機能、読解レベル表示、Google Drive・Microsoft OneDriveとの連携など多様な機能でワークフローを支えます。

Gale Power Searchによる横断検索

Galeの横断検索プラットフォーム「Gale Power Search」で3データベースを横断検索することができるため、特定のトピックやニーズに沿った資料を簡単に一覧することができます。また、Gale Academic OneFileやGale eBooksのご導入機関は、それらとも合わせて検索できます。



Global Issuesより「人身売買」のトピック・ページ

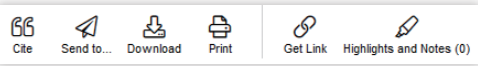
トピック概説文(冒頭部分を表示)

レファレンス、新聞、雑誌、学術誌、などの各資料タイプ別にトップ3の記事を表示

関連トピックへのリンク



Opposing Viewpointsより「いかに顔認識技術があなたの安全を守るか」の記事ページ



ツールバー

Article Commentary

"Technology has improved the profession beyond what the most imaginative officer could have conceived in those days."

James O'Neill is the police commissioner for the New York Police Department (NYPD) in New York, New York. In the following viewpoint, O'Neill discusses the role of the Facial Identification Section of NYPD's Detective Bureau and examines the advantages and limitations of using facial recognition technology to investigate and prevent crime. The author describes the process of this software as a tool to apprehend suspects and clarifies that its findings are always subjected to further examination by trained experts. He argues that the NYPD's use of facial recognition technology is especially crucial to public safety as a tool to investigate perpetrators of violent crimes and other serious offenses.

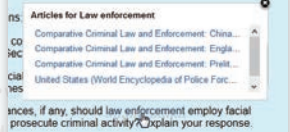
As you read, consider the following questions:

1. According to O'Neill, what checks are conducted by the NYPD to ensure that suspects identified by the Facial Identification Section are investigated fairly?
2. What are some of the limitations of facial recognition technology as used by the NYPD? Do you think the author emphasizes these limitations?
3. In your opinion, under what circumstances, if any, should law enforcement employ facial recognition software to investigate or prosecute criminal activity? Explain your response.

論点の要旨と読解のポイント

should law enforcement employ facial recognition technology to investigate and prevent crime? Explain your response.

青い字をクリックでポップアップ表示



本文内のキーワードから関連記事へのリンクを表示

Gale in Context トピック・ページの例

Gale in Context : Global Issues

ビジネス・経済

バーチャル通貨、ビジネス倫理、消費者製品の安全性、マイクロファイナンス、保護貿易、経済格差、紛争鉱物、航空安全対策、グローバリゼーション、外国為替市場 など

政治・外交・法律

欧州懐疑主義、難民、ナショナリズム、核不拡散、NGO、途上国の債務、諜報活動、死刑制度、国際通貨基金、脱植民地化、民主化運動、国境・境界と地図、イスラム国 など

国と地域

香港反政府デモ、マレーシアのアッラー論争、東日本大震災、中国の一人っ子政策、アフリカ飢餓救済、アラブ・イスラエル紛争、バスク民族主義、アラブの春 など

社会・文化

著作権と知財盗難、先住民の権利、美術品の盗難と返還、報道の検閲、文化財の返還、美の国際観念、言論の自由、体罰、ノーベル賞、個人情報盗難 など

環境・気候変動

農業と気候変動、排出量取引、エコテロリズム、越境大気汚染、南極の領有権、エコツーリズム、外来種、水産資源乱獲、動物の権利、異常気象、地球温暖化 など

女性・子供・家族

児童労働、親権をめぐる争い、男女別学、名誉殺人、女性に対する暴力、人身売買、高齢者の人権、少年兵、識字率、断種、エイズ孤児、ストリート・チルドレン など

科学・技術・医学

生命倫理、遺伝子検査とプライバシー、生物化学兵器、サイバー戦争、身体イメージと摂食障害、自殺補助と安楽死、幹細胞研究、食の安全と規制、ハッキング など

Gale in Context : Opposing Viewpoints

社会・文化

家庭内暴力、ホームレス、身体イメージ、ヘイトクライム、銃規制、セレブ文化、同性結婚、ポルノ、同調圧力、ソーシャルメディア、メディア暴力、プライバシー、自殺、肉食主義 など

科学・技術・医学

動物実験、医療倫理、抗生物質、核エネルギー、人工知能、中毒・依存症、自殺補助、行動障害、クローニング、進化論、栄養補助食品、うつ病、ドローン、幹細胞、ターミナルケア など

女性・子供・家族

妊娠中絶、フェミニズム、性教育、養子縁組、自閉症、母乳育児、いじめ、特殊教育と学習障害、デザイナーベビー、児童虐待、体罰、学生運動と言論の自由 など

ビジネス・経済

消費主義、インターナシッパ、自由貿易、規制緩和、アルコール・タバコ広告、ギャンブル、電子廃棄物、フラッキング、労働組合、フレキシブルな職場、地産地消運動 など

政治・外交・法律

国家と宗教、最低賃金、司法積極主義、死刑制度、電子投票、フェイクニュース、平和主義、愛国心、政治腐敗、政治と宗教、不法移民、内部告発者 など

Gale in Context : Environmental Studies

地球システム

異常気象、海面上昇、大気海洋相互作用、二酸化炭素吸収源、海洋酸性化、土壌生態学、帯水層、干ばつ、地震、洪水、エルニーニョ・南方振動、岩石サイクル、永久凍土、富栄養化 など

生態系

自然破壊、外来種、ディープエコロジー、抗微生物薬耐性、サンゴの白化、環境収容力、人工礁、原生林、生態系復元、絶滅危惧種、種子銀行、森林火災、都市流出水、保全生物学、生物地球化学的循環 など

エネルギー

核廃棄物、フラッキング(水圧破砕)、再生可能エネルギー、福島原発事故、電気自動車、エネルギーフロー、石油、太陽光エネルギー、地熱エネルギー、潮汐エネルギー、風力エネルギー、エネルギー政策 など

農林水産業・鉱業

遺伝子組み換え作物、乱獲(漁業)、灌漑、密猟、ミツバチ、総合的病害虫・雑草管理、捕鯨、肉食主義、食の安全保障、ローカルフード、工業型農業、鉱業、山頂除去採鉱 など

社会・経済

ヒートアイランド、産業生態学、エコツーリズム、外部性、フェアトレード、開発途上国、グリーン職業、費用便益分析、エコフェミニズム、炭素市場/炭素取引、グリーン経済、気候難民、グリーン建築とデザイン など

汚染

生物蓄積、アスベスト、電子廃棄物、メキシコ湾デッドゾーン、産業廃水、医療廃棄物、マイクロプラスチック、栄養汚染、太平洋ゴミベルト、石油流出、スペースデブリ、熱汚染、ベンゼン、内分泌かく乱物質 など

条約・法・組織

アジェンダ21、地球解放戦線(ELF)、環境法、グリーンニューディール、水保条約、シエラクラブ、憂慮する科学者同盟、国連環境計画(UNEP)、世界自然保護基金(WWF)、森林原則、京都議定書 など

本格的な英語記事の読解を助ける様々な機能と工夫

〈 Gale in Context: Opposing Viewpoints 収録の論点の例 〉

「ジェンダー賃金差は教育レベルが高くなるほど拡大する」

The screenshot displays the Gale in Context interface for an article. The article title is "The Gender Wage Gap Widens as Education Levels Increase" by Chris Winters. The interface includes a search bar, document metadata, and a main text area with several callouts:

- Callout 1 (Top Left):** 記事の読み上げ機能で、自動音声を聞きながら読むこともできます。
- Callout 2 (Top Right):** 単語数、読解レベル(5段階)、レクサイル指数を表示。ユーザーのレベルに合った記事を見つけることができます。
- Callout 3 (Middle Left):** 記事本文を、日本語を含む39か国語に自動翻訳できます。
- Callout 4 (Middle Left):** データベース編集者によるコメント。著者のバックグラウンド、主張の要点、読みながら考えるべき3つのポイントを提示し、読解を助けます。
- Callout 5 (Middle Right):** 気になるポイントにはハイライトや注釈(日本語も可)を施すことができます。
- Callout 6 (Bottom Left):** 本文中のキーワードからレファレンス記事等にリンクすることができます。

対立する論点「ジェンダー賃金差はほとんど神話である」 異なる主張と比べることで、論点を批判的に読む力を養います。

The screenshot displays the Gale in Context interface for an article titled "The Gender Pay Gap Is Mostly a Myth" by Emily Ekins. The article title is "The Gender Pay Gap Is Mostly a Myth" by Emily Ekins. The interface includes a search bar, document metadata, and a main text area with an article commentary:

Article Commentary
 "Convincing women of widespread, overwhelming injustice against them isn't helping"
 Emily Ekins is the director of polling at the Cato Institute, a libertarian public policy organization. In the following viewpoint, Ekins argues that politicians and labor activists misrepresent disparities in pay between men and women. Though the majority of women believe that women experience wage discrimination, the author maintains, most do not believe that gender-based wage